

2005年度 関西創価中学校 授業内容と評価（1年生）

1 教科・科目名

国語（書写）

2 担当者名

西田修英

3 担当者紹介

高1-3担任 書道部顧問 大阪府高等学校書道研究会（芸文祭担当）

4 教科・科目の目標

- ①正しい姿勢と筆の持ち方への理解
- ②基本的点画の筆使いを修得
- ③用具・用材を大切かつ効率的に活用

5 授業内容

(1) 1学期

毛筆—楷書・平仮名調和体を中心に
硬筆—全国硬筆展覧会への挑戦（代表50人出品）

(2) 2学期

毛筆—行書
硬筆—暮らしに生かす実用書（基礎）

(3) 3学期

硬筆—暮らしに生かす実用書（基礎）

6 教材

教科書 中学校書写1（学校図書）
プリント（適宜）

7 評価算出方法

- ①提出作品（毛筆，清書・骨書）
- ②授業態度（真面目，積極的，真剣）
- ③忘れ物
- ④ファイル（適宜配布するプリント，毛筆・線の練習用紙）
- ⑤全国展覧会への出品による外部客観評価

8 担当者より

「丁寧，手本通り，墨を擦る」といったスローレッスンを，このスピード・コンビニエンスの時代にどう実践していくか。

牧口先生の創価教育学説の真の実践を通じて実利と精神的鍛錬の両面を重視します。